

令和 4 年度

事業者番号	0044	事業所番号	004401
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	日立金属株式会社 熊谷事業所		
事業所所在地	市区町村	熊谷市	
	字・地番	三ヶ尻5200番地	
産業分類名(中分類)	23 非鉄金属製造業		
分類番号(中分類)	23		
事業活動の概要	事業内容	製造品 マグネット、アルミ自動車部品 従業員 1186人 敷地面積 440000m ²	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	~	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする(必要に応じて排出量取引を活用する)。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	447,960	t-CO ₂		
	削減目標量(計画期間合計)	111,991	t-CO ₂	事業所区分	第2区分

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	~	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	35,041	34,974			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	69,737	69,728			
前 年 度 比 (%)	—	0.0			
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
三 ぶ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	69,737	69,728			

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	3.6008	2.6996			
前 年 度 比 (%)	—	-25.0			
活 動 規 模 の 指 標	19,367.00	25,829.30			
出 荷 額					
単 位	百万円/年				

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	有
	<p>下記の要因により、全体としてCO₂排出量が前年度と比較して減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による生産量が減少した。 ・アルミホイール事業の撤退により、生産活動が停止した。 ・事業撤退により、関係する生産設備の撤去を開始。 					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	<p>令和3年4月にドロス置場等、生産設備を伴わない建物4棟、332㎡を解体した。 床面積減少比率 (332㎡ / 152075.025㎡) です。</p> <p>製品構成や単価の上昇により、出荷額は大幅に上昇しましたが、エネルギー消費量は横這いのため、CO₂排出量も横這いとなりました。</p>					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	149,151	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1	2年度	-40,539
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	125,503	108,612	108,612	108,612	108,612	559,951
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						447,960
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						111,991
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	69,737	69,728				139,465
	削減率 (F = (A - E) / A)	44.43%	35.80%				—
	排出削減量 (G = A - E)	55,766	38,884				94,650
各年度の排出量の検証		実施済	実施済				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	磁石工場 水銀灯のLED化による電力削減 ※R3も継続	R2	R2	3.3
2	310500	一般管理事 項	31_生産工程のエネ ルギー管理	希土類磁石加工 生産量に合わせた稼働(土、日停止)	R2	R2	95.4
3	370700	電動応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	希土類第二工場 製品合格率の向上 ※R3も継続	R2	R2	26.8
4	329900	ボイラー、工 業炉、蒸気系 統、	32_ボイラー・工業炉・ 蒸気系統・熱交換器 等に係るその他の削 減対策	フェライト磁石焼成 燃料の転換(都市ガス⇒電力)	R2	R2	1,072.0
5	370700	電動応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	希土類第一工場 製品合格率の向上	R3	R3	86.4
6	370700	電動応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	フェライト工場 製品合格率の向上	R3	R3	326.0
7	370700	電動応用 設備、電気加 熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	フェライト工場 製品の焼成速度UP	R3	R3	212.0
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	磁石工場 照明の効率化による電力削減	R3	R3	56.8
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	磁石工場 照明の効率化による電力削減	R4		31.5
10	310500	一般管理事 項	31_生産工程のエネ ルギー管理	磁石工場 電気炉の停止(1台)	R4		318.0
11	490200	その他	49_その他の削減対 策	磁石工場 太陽光発電設備の導入	R5		4,000.0
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

